

埼玉県内設備投資動向調査

設備投資の「計画有り」とする県内企業は69.7%と3年連続

✓ 設備投資計画の有無

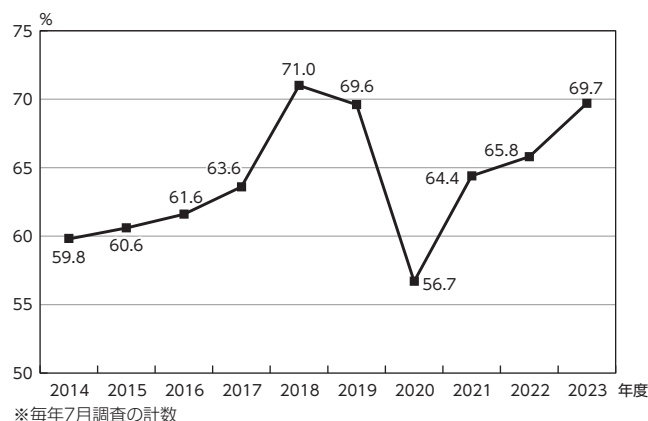
2023年度に設備投資の「計画有り」とした企業は、回答企業304社のうち212社で、前年より3.9ポイント増加し69.7%となった。「計画有り」とする企業は3年連続で増加し、コロナ禍前の2019年（69.6%）の水準まで持ち直した。

5月に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へ移行し、経済活動がさらに活発化するなか、設備投資を計画する企業が増えている。

業種別にみると、「計画有り」とした企業は製造業が84.7%（前年比+12.5ポイント）、非製造業は60.2%（同▲1.8ポイント）となった。製造業は「計画有り」が前年より大幅に増加し、設備投資意欲は強いものとなっている。非製造業は前年に比べ減少したものの微減にとどまり、コロナ禍前の2019年（62.8%）に近い水準を維持している。

規模別では、「計画有り」が大企業86.4%（前年比+3.8ポイント）、中小企業68.4%（同+4.0ポイント）で、大企業で設備投資意欲は強いものとなっている。

● 設備投資「計画有り」の企業割合の推移



✓ 設備投資計画額

2023年度の設備投資計画額は、当該企業の2022年度実績に対して+7.3%と、前年に比べ増加した。設備投資の「計画有り」とする企業割合が前年より増えるなか、投資額においても前年を上回った。

業種別では、製造業は前年比+21.8%、非製造業は同+1.8%となった。「計画有り」が製造業で増加するなか、投資額でも製造業の増加が目立った。

企業規模別にみると、大企業は前年比+5.2%、中小企業は同+8.8%といずれも増加した。

● 設備投資計画額

（単位：社、百万円、%）

	回答 企業数	2022年度 実績	2023年度 計画	前年度比
全産業	239	48,793	52,337	7.3
製造業	93	13,446	16,371	21.8
非製造業	146	35,347	35,966	1.8
大企業	16	20,665	21,739	5.2
中小企業	223	28,128	30,598	8.8

✓ 設備投資理由

2023年度に設備投資の「計画有り」とした企業のうち、その理由（複数回答）で最も多かったのが「設備更新」で77.8%（前年比▲2.4ポイント）、以下「コストダウン・合理化に対応」36.3%（同+2.6ポイント）、「技術革新・品質向上に対応」35.4%（同▲3.7ポイント）、「売上・受注見通しの好転」29.2%（同+4.0ポイント）と続いた。

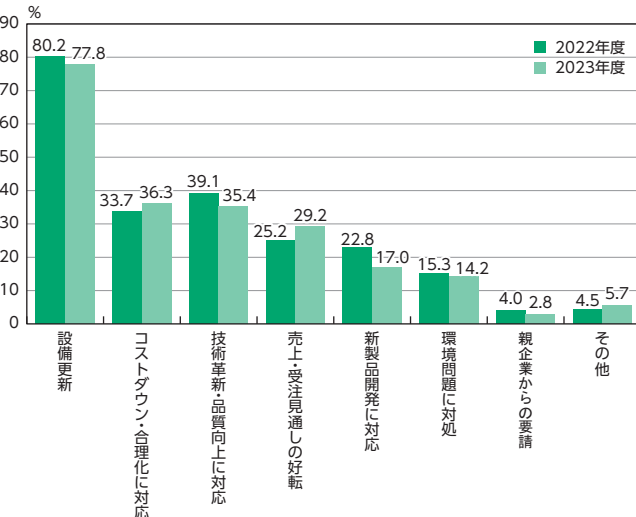
老朽化した生産設備や建物などの「設備更新」が引き続き多い。また、「コストダウン・合理化に対応」や「売上・受注見通しの好転」が前年に比べ増加した。深刻化する人手不足や原材料価格の高まりに対応した省力化への投資、また景気が持ち直すなかで受注の増加に対応する投資が増えた。

業種別にみると、製造業では「設備更新」が78.0%（前年比+0.9ポイント）で最も多く、次いで「技術革新・品質向上に対応」49.0%（同+2.0ポイント）、「コストダウン・合理化に対応」41.0%（同+1.2ポイント）と続いた。非製造業も「設備更新」が77.7%（同▲4.7ポイント）で最も多く、次いで「コストダウン・合理化に対応」

で増加し、コロナ禍前の水準まで持ち直す

32.1%(同+2.7ポイント)、「売上・受注見通しの好転」
28.6%(同+5.1ポイント)となった。

●設備投資理由

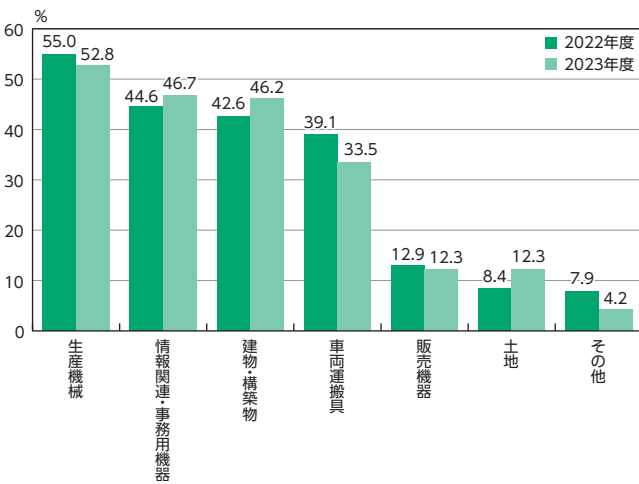


☑設備投資の対象物件

設備投資の対象物件(複数回答)は「生産機械」が52.8%(前年比▲2.2ポイント)で最も多く、次いで「情報関連・事務用機器」46.7%(同+2.1ポイント)、「建物・構築物」46.2%(同+3.6ポイント)、「車両運搬具」33.5%(同▲5.6ポイント)、「販売機器」12.3%(同▲0.6ポイント)、「土地」12.3%(同+3.9ポイント)と続いた。

業種別にみると、製造業は「生産機械」が83.0%(前年比▲11.0ポイント)で最も多く、次いで「情報関連・事務用機器」44.0%(同+5.4ポイント)、「建物・構築物」32.0%(同▲6.6ポイント)と続いた。非製造業は「建物・構築物」が58.9%(同+13.5ポイント)で最も多く、次いで「情報関連・事務用機器」49.1%(同+0.4ポイント)、「車両運搬具」44.6%(同▲9.2ポイント)と続いた。製造業、非製造業ともに業務の効率化を目的とした「情報関連・事務用機器」への投資が増加となった。また、非製造業で「建物・構築物」が大幅に増加しており、コロナ禍で手控えられていた店舗の新設や改築といった投資が増えているためとみられる。

●設備投資の対象物件

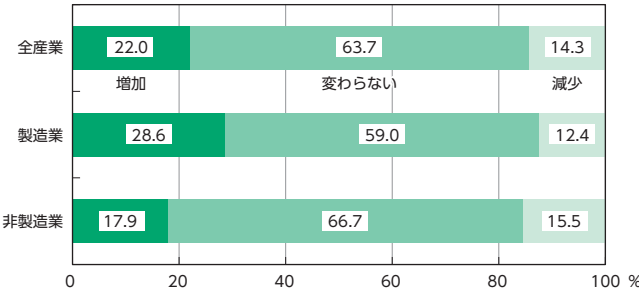


☑来年度の設備投資計画

来年度(2024年度)の設備投資計画は本年と比較して「増加」22.0%、「変わらない」63.7%、「減少」14.3%となった。「増加」が「減少」を上回り、来年度の県内企業の設備投資は本年度よりさらに増加すると見込まれる。

業種別にみると、製造業は「増加」28.6%、「減少」12.4%と、「増加」が「減少」を16.2ポイント上回り、非製造業は「増加」17.9%、「減少」15.5%と、「増加」が「減少」を2.4ポイント上回った。来年度の設備投資は製造業、非製造業ともに「増加」が「減少」を上回っているが、非製造業に比べ製造業でより増加を見込む企業が多い。(辻 和)

●来年度の設備投資計画



2023年7月実施。対象企業数1,012社、
回答企業数304社、回答率30.0%。